

深沢 亮子 (ピアノ) Ryoko FUKASAWA



千葉県東金市出身。3歳より両親からピアノの手ほどきを受け、10歳で永井進氏に師事。12歳で全日本学生音楽コンクール第1位、文部大臣賞受賞。15歳で第22回日本音楽コンクール首位受賞。17歳でウィーン国立音楽大学に留学、G.ヒンターホーファー氏に師事。在学中ガスタイン賞を受賞し、1959年同校を首席で卒業。翌年、楽友協会ブラームス・ザールにてデビューリサイタルを開催し、絶賛される。1961年、ジュネーブ国際音楽コンクール最高位入賞(1位なしの2位)。以来ヨーロッパ各地、南米、アジア主要都市で、リサイタルや室内楽、オーケストラとの共演等国際的な舞台で活躍。共演した指揮者はL.v.マタチッチ、G.ヴァント、H.ヴァールベルク、小沢征爾ほか。オーケストラはN.Ö.トーンキュンストラー管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団、NHK交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団他、全国の主要オーケストラと共演。室内楽では新・旧ウィーン八重奏団、ブリュッセル弦楽四重奏団、シュトイデ弦楽四重奏団他。1992年国際交流基金により音楽文化使節として天満敦子女史(Vn)とルーマニア、チェコ、スロヴァキア、ブルガリアへ派遣される。日本の作品も内外に数多く紹介。また度々ウィーンベートーヴェン国際ピアノコンクール、日本音楽コンクール他の審査員を務める。毎年リサイタルを開催しており、2017年の模様はNHK-BSプレミアム、およびNHK-FMで2020年まで国内外にて10回放映、放送された。2018年にはデビュー65周年記念リサイタルを東京とウィーンで開催。また2023年には東京でデビュー70周年記念演奏会を行った。著書、CD、楽譜の出版等多数。CDはソロのほか、吉江忠男(Bar)、天満敦子(Vn)、ウィーン室内アンサンブル〔アントン・フィーツ(Vn)、ウィルヘルム・ヒューブナー(Vn)、ヘルムート・ヴァイス(Vla)、フリッツ・ドレシャル(Vc)、アロイス・ポッシュ(Cb)〕、恵藤久美子(Vn)、安田謙一郎(Vc)、中村静香(Va)、藤井洋子(CI)、生沼晴嗣(Va)、アダルベルト・スコッチ(Vc)、安達真理(Va)諸氏との共演でリリース。2015年「Fantasie 幻想」が『レコード芸術』誌において特選盤となる。2024年「深沢亮子 ピアノ愛奏小品集」をリリース、読売新聞ほか7誌より絶賛される。『レコード芸術 ONLINE』推薦盤。英国ケンブリッジ国際伝記センター(IBC)により「最も優秀な100人の音楽家」に選ばれる。日本音楽舞踊会議代表理事、(公財)国際開発救援財団理事、日墺協会理事、フランツ・シューベルトソサエティ理事。1963年大阪府民劇場奨励賞、1995年千葉県文化功労賞。2005年東金市政特別功労賞。

恵藤 久美子 (ヴァイオリン) Kumiko ETOH



ヴァイオリンを 鷺見三郎、海野義雄氏等の各氏に師事。室内楽を黒沼俊夫、斎藤秀雄氏に師事。第41回日本音楽コンクール第2位入賞。1972年、兄、堤剛氏と「二重奏の夕べ」を東京、カナダで開催。1979年のリサイタルでは弘中孝(pf)氏と共演。2002年、深沢亮子氏と「ヴァイオリンとピアノの夕べ」を開催、以後「室内楽の夕べ」として現在まで続く。2017年、中野洋子氏(pf)とジョイントリサイタル。東京フィルハーモニー、新日本フィルハーモニーとのメンデルスゾーンの協奏曲の演奏や、その他のオーケストラとの共演も多い。1975年より10年にわたり、桐五十奏団で活躍。1980年より2年間、山形交響楽団コンサートミストレス。1991年より2002年まで 海野義雄を中心にした東京ヴィルトゥオーゾでコンサートミストレスとして活躍。深沢亮子、安田謙一郎両氏と、CD「室内楽の仲間たち I・II」をリリース。現在、桐朋学園大学特任教授。日本音楽舞踊会議会員。

中村 静香 (ヴァイオリン・ヴィオラ) Shizuka NAKAMURA



©Akira Muto

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業。全額スカラシップを受けアスペン音楽祭に参加。文化庁芸術家派遣在外研修員としてジュリアード音楽院に留学。第52回日本音楽コンクール第1位。及び増沢賞、レウカディア賞、黒柳賞受賞。第29回海外派遣コンクール特別表彰。第3回日本国際音楽コンクール入賞。故・鷺見三郎、海野義雄、故・小林健次、川崎雅夫、故・ドロシイ・ディレイの各氏に師事。NHK交響楽団等、各オーケストラと共演、各地の音楽祭にも出演。2003年に大垣音楽祭でヴィオラのソロ・デビュー、その後はヴァイオリンとヴィオラ双方で活躍の場を広げている。2年に1度開く自主企画のリサイタルではヴァイオリン曲とヴィオラ曲を織り混ぜた意欲的なプログラムを展開、2015年から深沢亮子氏と5回のデュオリサイタルを開催。「シューベルトティアード」(アートユニオン)等のCDをリリース。現在、桐五重奏団、水戸室内管弦楽団、サイトウ・キネンオーケストラメンバー。東京音楽大学准教授、フェリス女学院大学非常勤講師。日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール等の審査員。日本音楽舞踊会議会員。

安田 謙一郎 (チェロ) Ken-ichiro YASUDA



斎藤秀雄、ガスパール・カサド、ピエール・フルニエ各氏に師事。1965年第34回日本音楽コンクール第1位を受賞。翌年、ロストロポーヴィッチ氏に勧められ第3回チャイコフスキーコンクールを受け第3位入賞。1969年ルツェルン音楽祭合奏団のソリストとして、日本、ヨーロッパ、アメリカ、カナダの演奏会に同行する。1974年香港、サンフランシスコにて小沢征爾と共演。1975年より桐朋学園で後進の指導にあたる。水戸室内管弦楽団のメンバーとして活躍。1986年に結成した安田弦楽四重奏団、80曲に及ぶハイドンの弦楽四重奏曲全曲演奏、ベートーヴェン年代順室内楽作品の演奏会などのコンサート活動続け、高い評価を得ている。日本現代音楽協会、日本音楽舞踊会議、日本・ロシア音楽家協会会員。

- 東京メトロ東西線
神楽坂駅1番出口徒歩約1分
- 都営地下鉄大江戸線
牛込神楽坂駅A3出口徒歩約7分
- 東京メトロ東西線
飯田橋駅B3出口徒歩約11分
- JR 飯田橋駅徒歩約12分

